



ならっ子だより



9年間だけ走っていた鉄道が
あったって聞いたよ。

何か残っているものはないのかな。
あったら見てみたいな。



大仏鉄道

今から100年以上前、真っ赤な蒸気機関車が走っていたといわれる大仏鉄道（関西鉄道大仏線）がありました。機関車は煙をはき、ごう音をたてながら奈良と加茂の間を走っていました。



「大仏鉄道物語」
(大仏鉄道研究会著)より

1898年(明治31年)4月、大仏駅という駅がつけられました。大仏駅は、現在の佐保小学校の近くにありました。大仏駅ができると、大仏様を参拝するためにたくさんの方がこの駅を利用したそうです。大仏鉄道が走っているころ、真っ赤な蒸気機関車を見るために、お弁当を持ってやって来る人もいたそうです。また、黒髪山トンネルまでの急な坂を上がっていく時、人がたくさん乗っている時は、降りてみんなで押したり、近くの村の人が当番を組んで押したりしたという話も伝えられています。



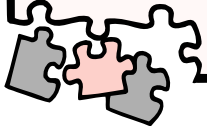
大仏鉄道はもうありません。しかし、100年以上前に真っ赤な機関車が走った鉄道の跡を、その頃のことを思い浮かべながらハイキングしている人たちがいます。また、大仏鉄道があった跡も、多くはありませんが残されています。これらのものを大切に未来に伝えようと、さまざまな活動をしている人たちもいます。

みなさんの周りにも、古くから大切にされているもの、未来に残しておく

たいものはありませんか。そして、そのために何ができるかを考えてみませんか。



佐保小学校の南にあります。



「思いやりのある子」「強くたくましい子」をめざしています。
火曜日と木曜日に
は、全校で朝読書に
取り組んでいます。
水曜日には、友だち
集会を行い、全校児童
が順番にみんなの前でスピーチをし
ています。また、木曜日の中休みの
時間には、地域の人が英語で童話の
読み聞かせをしてくれています。
美しい自然、文化、伝統や施設な
どたくさんある地域のよさを生かし
た授業、体験活動を取り入れた授業
も、地域の人が協力してもらいな
がら進めています。
これからも、仲間といっしょに学
び合い、地域の特性を活かした魅力
のある学校をめざしていきます。



学校紹介

並松小学校は、東
経135度58分、北緯34
度32分、海拔470メートル、大和高原
の中央に位置し、四季折々の豊かな
自然環境に恵まれた学校です。開校
は明治7年で、歴史と伝統を積み重
ね、平成22年度、創立137周年を迎え
ました。心身ともに健康で、心豊か
に、たくましく生きる児童を育成す
るため、「自ら学び、自ら考える子」

並松
小学校の巻

